

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	B	令和7年12月17日		
横断的な課題	大規模地震・噴火・水害等の発生時における対策の充実・強化						松本地域振興局	
地域重点政策							松本地域振興局	
実施機関	松本地域振興局総務管理課			担当課	所属	松本地域振興局総務管理課		
事業名	大規模災害への対応能力向上事業				電話	0263-40-1903		
					E-mail	<a href="mailto:matsuchi-kenmin@pref.nagano.lg.jp">matsuchi-kenmin@pref.nagano.lg.jp</a>		
事業概要等	目的 (目指す姿)	管内をはじめとする防災担当職員の防災対応能力向上						
	現状と課題	<p>令和6年に発生した能登半島地震は、震度7の激震と津波、火災が複合的に襲い、広範囲に甚大な被害をもたらしました。さらに同年9月には、同地域を再び記録的豪雨が襲い、復旧途上の被災地に追い打ちをかけました。こうした災害は、地震・豪雨・雪害などが連鎖的に発生する「多重複合災害」の時代を象徴しています。</p> <p>また本年8月にも九州や日本海側を中心に大雨により14道府県で被害が発生。土砂災害は、熊本県83件、石川県31件、鹿児島県16件、長崎県15件など全国で183件発生し、各地で住民生活に多大な影響を及ぼしました。</p> <p>長野県内でも、局所的な大雨による被害が頻発していることから、土砂災害を始めとする自然災害による被害への対応能力向上が求められています。</p> <p>一方で、自治体における防災については、担当職員の負担が多く、加えて専門的知識を得る研修の機会が少ないことが挙げられます。</p>						
	内容 (変更後の内容)	<p>今年度松本地域振興局において開催する防災担当者向け研修会は、長野地方気象台監修のワークショップとし、地域的な実例を交えながら、土砂災害に焦点を当て、松本地域における防災体制の強化と市村間の連携促進を図ります。</p> <p>あわせて、令和8年の出水期から始まる(予定の)新しい防災気象情報についての解説を受け、地域の防災力向上へとつながるよう、ともに学び、考え、備える場として開催します。</p> <p>○内容 地方公共団体防災担当者向け気象防災ワークショップと新しい気象防災情報について</p> <p>○監修・講師 長野地方気象台</p> <p>○日時・場所 令和7年11月6日(木)午後1時15分～・松本合同庁舎205会議室</p> <p>○参加対象者 管内市村防災担当者、長野県災害対策本部松本地方部職員、その他県内希望市町村・地域振興局の防災担当者</p>						
事業期間	令和7年11月6日(木)							
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	令和7年度松本地域振興局防災研修会	ワークショップと講演(説明)	92,510	プロジェクター購入費				
	合計		92,510					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	参加者の満足度		80%以上が有益と回答	100% (回答率92%)	● 達成			
					○ 一部達成			
					○ 未達成			
事業実績・成果	<p>・管内全市村から防災担当者が参加(他地域振興局、管外市町村防災担当者含め計25名)</p> <p>・長野地方気象台が企画・監修・運営したワークショップを受講することで、詳細な条件設定の下、今現在考える最良の対処方法を学ぶ機会となった</p> <p>・長野地方気象台、市町村、地域振興局防災担当者が意見交換しながらタスクに対処することでの意見交換に加え、通常業務全般について情報共有しながら顔の見える関係を構築できた。</p>							
今後の方向性	防災における県全体でのスキルアップ研修が行われておらず、地域振興局が主導して研修等を行うことが地域の防災力を向上させることにつながるため、今後も継続が必要							